

なかつか 亮



2013年10月20日(日)

NO412

区議控室 Tel 5742-6818

事務所 大井3-19-7-101

Tel 3773-3231

なぜ、今ごろになって？

すでに沿道はマンション？

大井本通り商店街を削る

都市計画道路補助28号線計画

池上通り拡幅事業



現在の池上通りの様子

28号線用地取得に向けた測量説明会

◆10月28日(月)午後7時より

◆山中小学校体育館にて

※計画周辺地域に東京都が案内チラシを配布

“防災と言うと道路ばかり：”東京都は29号線、放射2号線に続き「大井本通り商店街」の店先を削る28号線（池上通り拡幅）へ、用地買収に向けた測量説明会を示しました。商店主からは「店舗を改装したばかり、なぜ急に」「削られると、残った敷地では商売にならない」と不安の声があがっています。

合計3本の道路建設

昨年1月、東京都は「木密不燃化10年プロジェクト」を策定し、東京の大震災時に火災の延焼拡大を防ぐ対策として、都内28路線の都市計画道路を特定整備路線に指定。区内では補助29号線、放射2号線、補助28号線の3路線。28号線とは「池上通り」のことです。

今年1月以降、550戸の住宅を立ち退かせる29号線や、星薬科大学の植物園を道路に変える放射2号線は、先行して区内小学校にて説明会が開催。どこ

時は都内の幹線道路は大渋滞。これが震災時、車両火災を引き起こしたらどうなるのか。道路が防災の役に立つのか」「公園や緑を道路に変え、商店街を削る計画はやめてほしい。地域交流が壊れてしまう」と、反対意見があがりました。

街・商店街が壊れる

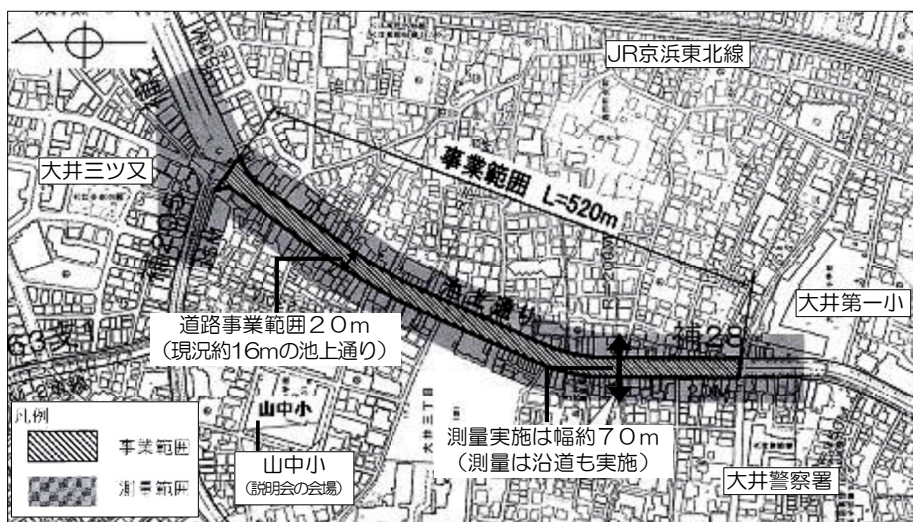
共産党は「防災対策は商店街や住宅街が壊れる道路ではなく、建物耐震化や初期消火強化など別の方法がある」と計画の中止、住民参加による計画策定を区議会、都議会でも繰り返して求めました。裏

品川区パブリックコメント実施中！意見提出方法は、10月1日付「広報しながわ」又は、区ホームページのメールフォームより。是非、ご参加ください。

実際のところ3〜5 m程の道路拡幅で、どのぐらい防災の役に立つの？

商店街、地域コミュニティを壊す 道路計画は中止を 防災対策は別の方法があります

東京都作成資料より（一部加筆）



なぜ池上通りを拡幅

東京都は特定整備路線を「命を守る道」と防災を強調。大崎から西大井にぬける延長3・5 km、幅20 mの29号線では住宅を立ち退かせ、道路沿道に不燃化建築物を誘導。この姿に「静かな住宅街が壊れる」と住民から反対意見があがっています。ところが28号線は、「池上通り」です。すでに17 m程の道路が存在し、沿道マンションも随分と増加。実際のところ池上通りを3〜5 m程拡幅し、20 m道路にそろえる防災上の

理由とは何でしょうか。現在のところ東京都

の説明はありません。

商店街の応援こそ

商店街は住民生活に欠かせない生活の場です。また、日常的な交流の場となる商店街は、震災時に必要な地域コミュニティを作ります。商店街を壊す道路計画とは防災対策に逆にマイナス。またこうした道路計画に巨額な税金を使うことが必要な公共事業なのでしょうか。説明会が28日（月）7時より山中小学校で開催されます。是非、御参加を。なかつか亮

東京都・品川区の提案

29号線建設費 822億円

共産党の提案

住宅耐震無料化 443億円

■試算：29号線822億円は、昨年完成した補助46号線（小山1丁目）の事業実績より算定。住宅耐震無料化443億円は、耐震性の無い区内木造住宅約1万3千棟を対象に、改修工事及び建て替え工事について診断費無料、補助額2倍の300万円で算定。

今回の『気軽な町の無料法律相談会』は日程が決まりしだいご案内します。